

羽咋市への災害派遣

～全国各地から能登半島への災害派遣～

災害派遣の経緯

令和6年2月19日に、日本下水道協会から群馬県を通して石川県の被災自治体へ中長期派遣の依頼がありました。派遣を要望している自治体は18自治体で、合計40人の災害派遣依頼があり、その中で羽咋市から下水道技師2人の派遣要望がありました。

群馬県への回答期限は3日後の2月22日と非常に期間が短いものでしたが、下水道に関する業務経験のある技師1人を羽咋市へ派遣することが決定しました。派遣期間は6年4月～9年3月までとなり、1年間ずつの交代制となっています。

羽咋市の下水道と下水道

羽咋市の下水道については、市営の浄水場はなく、石川県から配水を受けています。下水道については、市が処理場

を運営して下水の処理を行っています。

羽咋市は下水道・下水道共に整備が進んでおり、維持管理業務が主となっています。上水道・下水道・下水処理場・市が設置する浄化槽など、多岐にわたる業務を維持管理ができる最小人数で行っているため、羽咋市職員のみでの災害対応が難しいことから、藤岡市と岡山県倉敷市から災害派遣を受け入れて復旧作業に当たっています。

被災状況と復旧業務

羽咋市の下水道管路総延長約170kmの内、約20kmが被災しました。復旧工法も特殊であり、多額の費用がかかるため、復旧には長い期間が必要で、また、復旧に係る費用については国の補助を受けるには、国の査定官による災害査定を受ける必要があります。復旧の範囲や方法、復旧にかか

る費用を算出する必要があります。

災害派遣当初は、段差の擦り付け舗装やマンホール内にたまった汚水の吸引など、応急処置をしながら災害査定を受検する箇所の選定を行いました。

7月下旬から始まった災害査定は、12月中に完了する必要があります。そのため、査定用の資料を作成し、2週間おきに査定を受検しました。また、石川県からの要請を受け、9月に発生した豪雨災害で被害の大きかった輪島市へも応援に行きました。

今後の支援体制

下水道事業の復旧については広範囲にわたるため、費用も膨大になります。羽咋市の下水道事業のみでも多額の災害査定を受けることに加え、今後は工事の発注を行って復旧・復興をしていかなければなりません。被災した皆さんが、少しでも早く元の暮らしを取り戻せるよう、長期的な支援を行っていく必要があります。

復旧支援を通じて

～現地での業務を通して分かること～



羽咋市 地域整備課

斉藤 賢一 さん

藤岡市は姉妹都市である羽咋市へ現在も下水道技師を派遣しています。今回は、発災当初の能登半島や羽咋市の状況、実際に被災地を目の当たりにして感じた事、復興に当たって現在取り組んでいる業務などについて羽咋市へ派遣されている斉藤技師に伺いました。

羽咋市の被害状況

能登半島の輪島市や珠洲市の被害状況はかなりひどく、テレビなどで報道も頻繁にされています。羽咋市はあまり報道されていませんが、かなりひどい被害を受けている場所もありました。「羽咋市の東側に当たる山側は全然被害が無い地区もありましたが、西側の海や川沿いは液状化の被害が大きかったです」。場所によって被害の温度差がありますが、現在もピンポイントで住めない区域もあれば、仮設住宅に住んでいる人もいます。

復興に向けた取り組み

派遣当初は被害に関する詳細な資料やデータが手元になく、被災した浄化槽の交換の設計や発注、施工管理から始まりました。7月から下水道の管路の調査結果が分かり、その結果を基に災害査定を受けるための設計書作成を順次行っています。「下水道管のような地下に埋まっているものは、どこが被災しているのか目に見えるものではないので修理に時間がかかります。羽咋市内では約10%程度が被害を受けている状態でした。被害の程度や損傷の状況によって補修方法も変わってくるので、被害のケースの一つ一つ検討しながら最適な復旧方法の設計書を組んで査定に臨んでいます」と派遣先での業務内容について語ります。

支援を通してつながる

現場では、地元の人たちや業者とも接点があります。「羽

昨市の皆さんからは、復興に向けて頑張ろうという前向きな印象を受けました。被害や不具合が起きた箇所を修繕するために現場作業をしていると、あいさつをよくしてくれるので、すごく優しいです。また、藤岡市以外から応援に来た自治体の職員もいて、「地域によっていろいろな仕事のやり方があるって勉強になる」と、復興支援を通して新しい学びやつながりも生まれています。

羽咋市の復興に向けて

これまでに合計12回、29件、約85億円の災害査定を受検し、査定が完了した箇所から随時、詳細設計に取り組んでいます。復旧には長い期間を要しますが、これまでの土木や下水道の知識、令和元年に起きた台風19号からの災害復旧の経験を生かし、被災された人たちが1日も早く震災前の生活に戻れるように尽力したいと思っています。

下水道技師派遣の流れ

石川県内の被災自治体

↓ 派遣要請

石川県

↓ 派遣要請

日本下水道協会

↓ 全国各ブロックへ支援要請

関東ブロック(群馬県)

職員派遣 ↑ ↓ 派遣要請

藤岡市

藤岡市から下水道技師1人の派遣を決定



▲発災当初に撮影した羽咋市内の道路被害状況



▲石川県からの要請によって、羽咋市以外でも作業を行うこともある



▲被災現場における災害査定を行っている様子



▲災害査定で査定官に被災状況を説明している様子